



発行 布野町地区社会福祉協議会

ふるさとに夢や誇りをもって、

未来の創り手となる子どもたちの育成

三次市立布野中学校長 池田 誠

三次市では、「子どもたちの未来は地域の未来」をコンセプトに「三次市こどもの未来応援宣言」を策定されました。「いつまでも住みたい地域、いつかは帰ってきた地域」との想いを育もうとする時、豊かな自然・文化・地域のつながりを通して、地域を見つめ、地域と関わり、地域とともに学ぶことは必要不可欠です。

そこで、本校では地域の課題を捉え、課題・発見学習を通して布野町をPRする方法を総合的な学習の時間の中で考え、その学習成果を発信しております。この活動を通して地域創生という夢や希望をもち、ふるさとへの愛着を高め、社会に貢献できる志をもった生徒の育成につながると考え取組を進めています。

◆ 銀山街道知って創作パンフに

世界遺産である石見銀山周辺や資料館の事前学習を踏まえたうえで学習を行い、布野

と銀山街道のかかわり（布野町内に残る道、赤名との関係、伊能忠敬等）について理解を深めました。石見銀山街道のPRで布野のすてきな街づくりに貢献することができないかと生徒がアイデアを練り、「文化祭での劇化発表、パンフレットづくり、地域への発信」と学習を進めていきました。特にパンフレットは、町内の街道沿いに残る、当時の宿泊施設（升屋）や地蔵などを掲載し、二千部印刷して市役所や町内の道の駅などに置いています。



◆ 妖怪伝説絵本でPR

三次もののけミュージアムができるきっかけとなった「稲生物怪録」に出てくる相撲取り『三井権八』が布野出身との情報を得ました。その事実を布野村誌で確かめ、ゲストティーチャーに、妖怪博物館の学芸員や地元の歴史に詳しい人を招聘したり、現地調査を行ったりしました。妖怪博物館に来た人が、布野町にも興味を持ってもらえるよう、『三井権八』の絵本を作成することとし、生徒たちは主体的に活動しました。文化祭ではこれを劇化して発表し、意見や感想を集め、それらを基に、絵本に改良を加えて完成させました。

本年九月二日には、この絵本百冊を妖怪

博物館に寄贈するとともに、十一月二日には、「青少年育成県民運動推進大会」でこの取組を発表し、布野町の魅力をPRする予定です。今後も生徒が地域の一員としてふるさとから学び、ふるさとの良さを発信し、ふるさとの未来を考える心豊かな生徒に育つことを期待しています。



お知らせ

保育所園児と交流会



地域の皆様と園児とのクリスマス会を開催いたします。かわいい子供たちと楽しい時間を過ごしましょう

日 時 令和元年12月12日（木）
午前9時30分～11時

場 所 布野保育所

申し込み 12月6日（金）までに

社協 布野支所 54-2042

送迎いたします

必要な方は申込をお願いします

この事業は共同募金の分配金が使われています

